

北区会 自由な趣味の会

第43回「書道とペン字の会」活動計画

2021年 2月 21日(月)

1. 参加者と場所と時間

時 間	場 所	参 加 予 定 者
13時00～14時00	タンポポセミナー	講師藤澤淑子: 庶務土井、佐伯、鬼村、長谷川、道満、山崎、前田、味村 永井、平井、山田、敬称略12名

はじめの会

楷書の段階ではまず、手本の線をしっかり見てとること。どのように打ち込み、どのように止め、どのようにハネるか、一本の線おどろが強いのか、角度、中心、長さなどをよく観察して書く事が肝要です。

2 藤澤講師一言

「書」というものは、書体(楷 行 草 隷など)の如何にかかわらず、字粒を全く同じ大きさに揃えて書くのではなく画数や字形によって大小つくもので、その方が美しい。

3 藤澤講師 提案の書

* 藤澤講師が作品 書の書き方説明と添削をして頂く。

是までの手本と今月本番の書。どうぞ日々の練習してください！練習こそ進歩の道。

第32回練習書 楷書「帰命庭充」&行書「其源故知」

第33回練習書 1 楷書「清和」&行書「清和」 楷書「似藁街委」 行書「蠢々凡愚」

ペン字 2 卯月・入社・東風・春雨・花守・日永・余寒・山桜・残雪・摘草・水仙・白魚

3 ひらがな: あいうえおかきくけおさしせそたちつとにぬねのはひふへほまみ

第34回練習書 楷書「己 来 未 之」孔子廟碑・初唐三大 虞世南(558～638)

楷書「淑氣」 行書「淑氣」

第35回練習書 意味 春の和やかな気配は時と共に消え、名残の香りも風と共に去っていく

楷書「有 也 靈 臺」孔子廟碑・初唐三大 虞世南(558～638)

楷書「大聖」 行書「大聖」

意味 比類なき聡明賢智の人をいう。「礼記」「楽記」

ペン字: 様殿 先生 御中 拝啓 敬具 草々 お世話 御礼

お願い ご健勝 ご自愛 かしこ。

第36回練習書 楷書「蘭石」 行書「蘭石」

意味 石の性は堅、蘭の性は香、善性を受けて成長すれば大成する

行書「能無疑或」 「千萬碧玉枝」

ペン字: おお空よ 限りもなく 広々とした大空を悠長な時流れが一片の雲静かに流れている

第37回練習書 楷書「沈雅」 行書「沈雅」

(手本・各自に配信) 意味 沈着で度量が広い。

行書「者 哉 然 則」 「虚 侯 江 海」

ペン字: おお空よ 限りもなく 広々とした大空を悠長な時流れが一片の雲静かに流れている

第38回練習書 楷書「文静」 行書「文静」

(手本・各自に配信) 意味 華美と静寂を兼ね備えていること、教養があってもおごらないこと。

楷書「孝 成 燧 息」 孔子廟堂碑

行書「大 教 之 興」

ペン字:

第39回練習書 楷書「懷玉」 行書「懷玉」

(手本・各自に配信) 意味 聖人は粗末な衣服を着ていても宝玉のような美しい心を抱いている

楷書「孝 成 燧 息」 孔子廟堂碑

第40回練習書 楷書「無事」 行書「無事」

(手本・各自に配信) 意味 自己本来の心に返った安らかな状態。もしそれに徹底出来れば、一生の間、心安らかに過ごせる人だ。

楷書「騰漢 遼 而」 孔子廟堂碑

行書「大 教 之 興」

ペン字:

第41回練習書 楷書「寒 燈」 行書「寒 燈」

(手本・各自に配信) 意味 旅人である私に心はどうしたことか、ますます物悲しくなっていく

楷書「河 木若 矢 山掃」

行書「咬 夢 輝 東」

ペン字:

第42回練習書 基本 楷書「濯 足」 行書「濯 足」

(手本・各自に配信) 意味 足を濯ぐ。世を退いて隠れる事。

楷書「白 西 入 旦」

行書「域 而 流 慈」

ペン字:

第43回練習書 基本 楷書「知 虞」 行書「知 虞」

(手本・各自に配信) 意味 優れた分別。深い思慮。

楷書「兢 懷 夕 惕」

行書「昔 者 分 形」

ペン字:

申し合わせ及び注意事項	
1)	欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
2)	諸道具は自身で持参、その服装などの準備をお願いします
3)	一回500円の諸費を参加出席者をお願いします。

次回予定

第44回活動計画 予定

令和四年 3月 28日(月) 予定

9時～12時

場所: しあわせの村内 未定